

## 総合政策研究科の魅力



総合政策研究科委員長

よこやま  
横山 彰  
あきら

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんに、大学院の素晴らしさ、とりわけ総合政策研究科の魅力をお伝えし、私たちの大学院へ進学することを少しでも考えて頂きたいと思えます。

総合政策研究科は、総合的に政策を研究する大学院です。総合的に政策を研究するとは、一つの学問からではなく複数の学問の観点から、それぞれの社会が直面している諸問題を的確に把握して、その問題解決のための政策を立案し審議し決定し実施することについて研究するとともに、その政策を評価することについて研究することを意味します。

政策とは、「社会の意識的な方向付けを実現するためになされる人間の諸活動」を意味しますので、その社会において、どのような方向付けが望ましいのかが重要になります。言い換えれば、どのような社会が「良き社会」なのかこそ、重要になるのです。これは、政策目標の設定に関する問題になります。また社会とは、「人々が他者と一定のかかわりの中で暮らしている場」ですので、国民国家や地方公共団体だけではなく、家族や会社や学校なども社会の一形態です。

皆さんにとって大切な社会とは、どのような社会でしょうか。その社会が抱えているさまざまな問題の中で、最も重要な問題は何でしょうか。その問題に対して何も対策をとらない場合には、どのような社会状態が出現すると予測できるのでしょうか。他方、そうした問題に対して何らかの対策を講じたときには、社会状態はどのように改善できると期待されるので

しょうか。総合政策研究で皆さんに一番習得してほしいことは、政策を実施した場合と実施しなかった場合を比較してみるという視点です。ある政策を実施すると、社会はどのようなようになるのか。これとは違う政策を実施すると、どのように違う社会状態になるのか。政策を実施したとき出現すると予想される社会状態は、実施しなかったときの社会状態に比べ、より良いと判定できるのか。その価値判断基準は何が。価値判断基準が違えば、違った評価がなされるのです。

こうした視点から総合的に政策を研究する大学院が、私たちの総合政策研究科です。従来の学問体系からだけでは解決できないような問題について、その解決策を探求する能力を高めることを目指しています。総合的な政策能力を高めるためには、机上の勉強だけでも現場の経験だけでも、その社会の内部の情報だけでも外部の情報だけでも、冷静な頭脳だけでも暖かき心だけでも十全ではありません。

私たちの総合政策研究では、次のような能力を持った人材の養成を目指しています。

- 一、総合的・学際的研究を通じて世界と日本の情勢を的確に把握する能力
  - 二、さまざまな社会レベルの政策問題を考察・分析し現実的な政策を立案する能力
  - 三、世界の人々との間で知的・人的ネットワークを形成する能力
  - 四、アジアの歴史・文化を理解し人類全体の発展と調和に貢献する能力
- こうした能力を高めることで、あなたは、あなたが大切にしている社会を、あなたが考える「良き社会」に変革することができるようになるでしょう。私たちの大学院は、まさに異文化交流の現場であるとともに、新たな理念や社会を形成するための素地を生み出す源泉であると自負しています。あなたが考える「良き社会」を創り出すために、あなたはどのような役割を果たせるのでしょうか。いまは無理だとしても、将来そうした役割を果たせるようになるために、あなたはいま何をなすべきなのでしょう。このようなことに少しでも興味があれば、私たちの大学院への進学を考えて頂きたいのです。